

各府省等における博士号取得者及び 修士号・専門職学位取得者の 採用人数調査 (令和7年度実施)

内閣官房 内閣人事局
内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局
文部科学省 高等教育局

1. 調査趣旨

第6期科学技術・イノベーション基本計画（令和3年3月）において、博士後期課程学生の処遇向上とキャリアパスの拡大が掲げられ、具体的な施策として博士号取得者の国家公務員や産業界等における国内外の採用、職務、処遇等の状況について、実態やニーズの調査結果と好事例の横展開を行うこととされている。これを踏まえ、各府省等における博士号取得者等の採用人数を把握するべく、令和5年度、令和6年度に引き続き、今般、「各府省等における博士号取得者及び修士号・専門職学位取得者の採用人数調査」を実施。

2. 調査対象

- ✓ 調査対象は以下の26府省等。（調査時点：令和7年4月1日時点）

内閣官房、内閣法制局、内閣府、宮内庁、公正取引委員会、警察庁、個人情報保護委員会、カジノ管理委員会、金融庁、消費者庁、こども家庭庁、デジタル庁、復興庁、総務省、法務省、外務省、財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省、人事院、会計検査院

※外局のみに該当がある場合も、当該外局が所属する26府省等に整理。

- ✓ これらの機関に対して、博士号取得者及び修士号・専門職学位取得者の採用人数調査を実施。
- ✓ 令和7年4月1日に採用された職員のうち、各府省等の内部部局、試験研究機関又は文教研修施設において恒常的に人事管理をする予定の職員（任期付職員、任期付研究員、地方支分部局等採用職員、地方公共団体等からの出向者、官民人事交流による出向者、非常勤職員等を除外する。）を対象としている。
※4月1日以外に年度途中で採用した職員については含まれていない。
- ✓ なお、博士号取得者には、いわゆる「満期退学者」や「法務博士（専門職）」は含まない。

3. 今後の予定

- ✓ 今後も継続的な実施を予定。

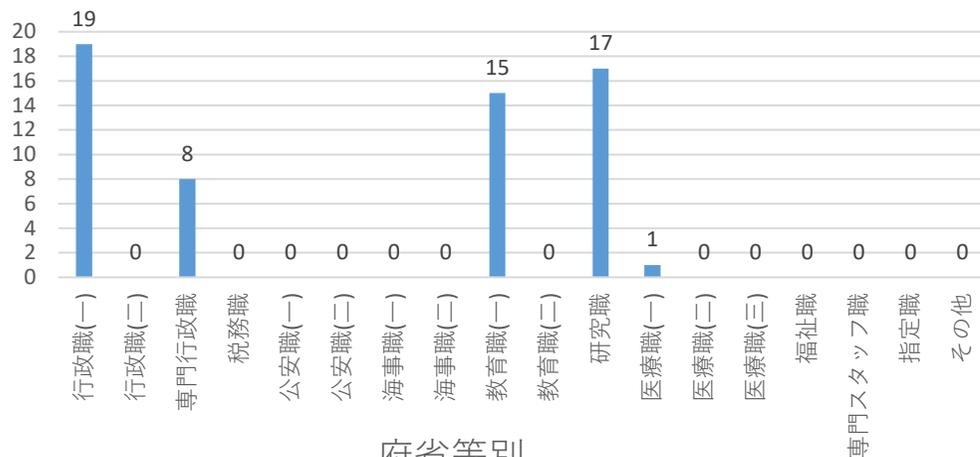
結果概要（博士号取得者）

令和7年4月1日において、府省等において採用された博士号取得者は60人

- 俸給表別で見るとほとんどの博士号取得者は行政職（19人）、研究職（17人）又は教育職（15人）として採用されている。
- 採用された方法として選考採用（45人）が最も多く、続いて試験採用のうち総合職試験（11人）となっている。
- 令和7年4月1日に1人以上の博士号取得者を採用した府省等は9府省等であり、特に防衛省では20人の採用があった。
- 府省等ごとの行政職（一）の人数をみると、経済産業省が最も多く、4人となっている。

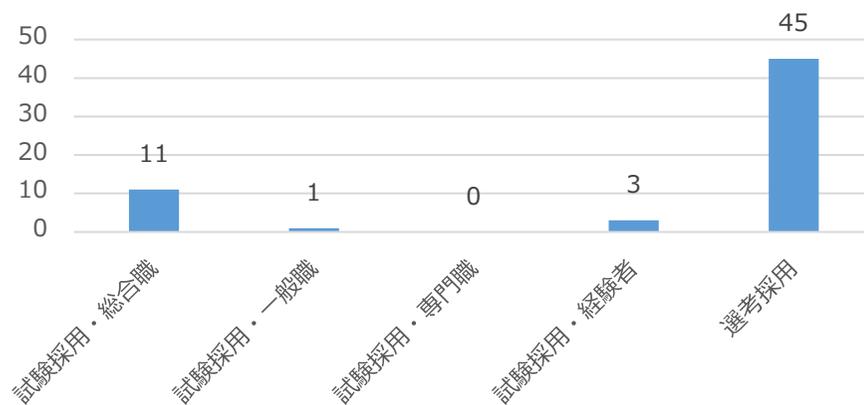
(人)

俸給表別



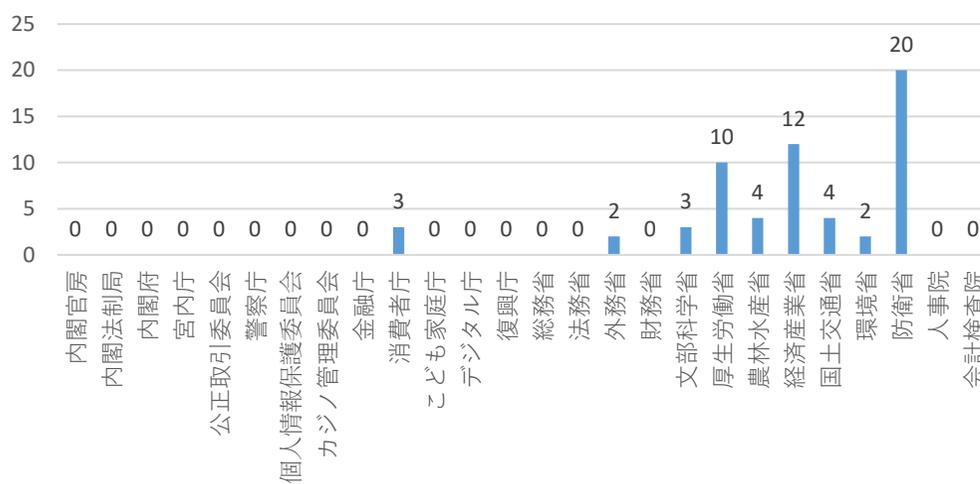
(人)

採用別



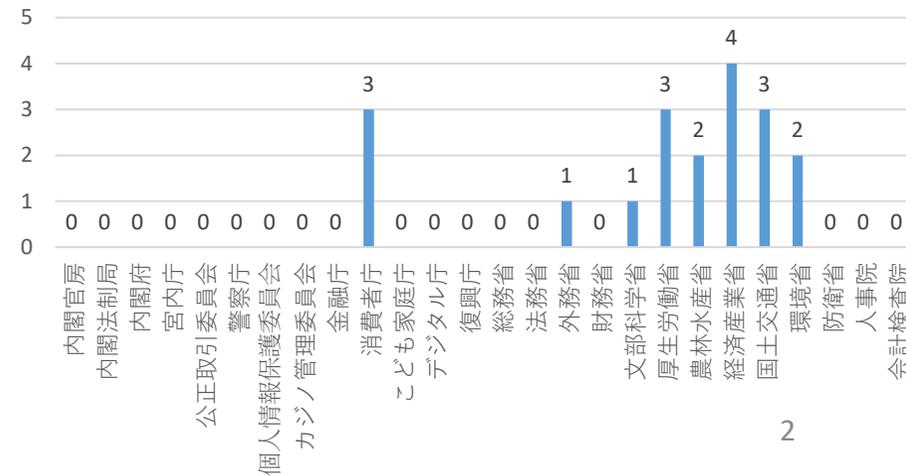
(人)

府省等別



(人)

府省等別の行政職（一）



結果概要(修士号・専門職学位取得者)

令和7年4月1日において、府省等において採用された修士号又は専門職学位取得者は482人

- 俸給表別の採用人数を見るとほとんどが行政職(435人)として採用されている。
- 採用された方法として、試験採用のうち総合職試験(318人)が最も多く、続いて一般職試験(85人)と選考採用(61人)となっている。

